2010年（平成22年）11月22日（月曜日）
（NO，10663）
友引（旧10月17日）
夕刊　矢祭
夕刊矢祭新聞社　日刊（日曜・祭日・第二・第四土曜休刊）　月額1，000円
矢祭町東舘字桃木町42－2　発行人　菊池正典　☎46－3508　昭和57年12月6日第3種郵便物認可

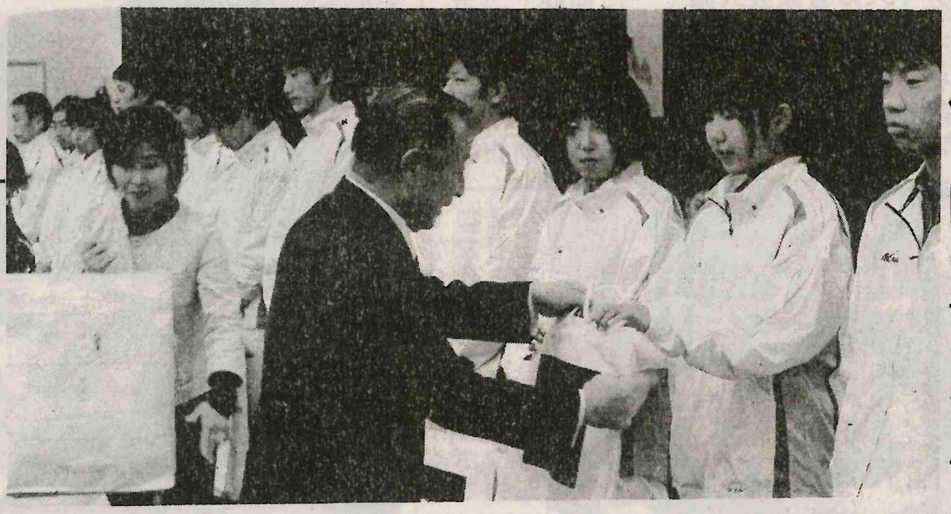
よく頑張った矢祭町選手

ふくしま駅伝

総合31位、町の部は15位

石井寿美さん１５区で２年連続区間賞

鈴木薫主将２０年連続出場の特別表彰



　第二十二回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会（ふくしま駅伝）は、昨二十一日午前七時四十分スタートにより白河総合運動公園陸上競技場から福島県庁までの十六区間九十六・二キロをコースに五十一市町村チームが参加して開いた。

　その結果矢祭町チームは５時間４０分５６秒の記録で、総合三十一位、町の部二十九チーム中十五位と大健闘した。昨年の５時間４０分０７秒に比べ４９秒差だった。

　また矢祭町チームの石井寿美さん（矢祭中三年）が、十五区（三・四キロ）で１１分３９秒を記録し、二年連続区間一位（区間賞）と大活躍した。

　午後七時からユーパル矢祭において報告会を開き、来賓や家族、実行委員、スタッフが選手の力走を称えた。

　永山勝範実行委員長の司会進行により深谷良太郎副実行委員長が開会のことば、坏功三監督が「選手全員一人一人がきちんと役割を果たし、二十年連続出場、区間賞は全員が協力して成し遂げたもので、町の部四位の年に匹敵するまとまったチームとなりました、選手を褒めてあげて下さい」と結果報告した。

　第三回から二十二回まで二十年連続出場した主将の鈴木薫さんに大会長からの特別表彰を古張町長が伝達した。

　古張町長が「昨年より数秒遅いとはいえ見事な記録で上位入賞と同じです。大都市や箱根駅伝出場選手らを相手に中学生主体のチームでよく頑張りました。町の誇りです」と挨拶、佐川芳正団長が「長い期間ご指導ご協力ご支援ありがとうございました」と御礼のことば、富永盛彦議長が「昨年に比べ遜色ない成績であり立派でした。ご指導いただいた監督、スタッフの実行委員、保護者の方に敬意を表します」とねぎらいの言葉を述べた。

　佐川団長から古張町長に団旗が返還され、古張町長が選手一人一人に記念品を授与、佐川昭夫副実行委員長の閉会のことばに次いで、鈴木幹男町教育委員長の乾杯音頭で選手を囲み慰労会を催した。

　なお今大会の総合優勝は郡山市、二位はいわき市、三位は福島市と大都市が上位を占めた。町の部は三春町が優勝、猪苗代町が二位、矢吹町が三位となった。

　東白川郡内他三町村は鮫川村が総合三十九位、村の部九チーム中七位、塙町が総合四十三位、町の部二十四位、棚倉町が総合四十八位、町の部二十八位だった。

あす鮫川村と合同で交流会

　矢祭町プロジェクトＹ事業実行委員会と鮫川村教育委員会合同の「交流会ｉｎやまつり」は、あす二十三日午前九時集合により矢祭町体育センターで開く。

　スポーツ交流の後は館山ランドで芋煮会を行う。

▼町議会産業常任委員会は、きょう午後八時から役場議員控室で開く。

死亡通知

父　熊田嘉見　儀

十一月二十日午後十時十五分　九十歳の天寿を全うし永眠致しました

ここに生前のご厚誼を深謝し謹んでご通知申し上げます

追って葬儀は十一月二十三日十二時（正午）より『ＪＡ斎苑』やすらぎの杜棚倉斎場に於て仏式にて相営みます

平成二十二年十一月二十二日

矢祭町大字下石井字頭屋三四番地

喪主　熊田次兄（三世子）

外　兄弟親戚一同

死亡通知

母　成瀬きし　儀

十一月二十一日午後〇時三十分　九十歳の天寿を全うし永眠致しました

ここに生前のご厚誼を深謝し謹んでご通知申し上げます

追って葬儀は十一月二十四日十二時（正午）より棚倉町『東白斎苑』に於て仏式にて相営みます

平成二十二年十一月二十二日

矢祭町大字中石井字岡下一二三番地

喪主　成瀬一廣

江村孝子

成瀬重喜

外　親戚一同

▼町内小・中学校「ノート展」は、きょうから下関河内小学校で開いている。順次町内各小中学校を巡回展示する。

▼町農業委員会総会は、二十四日午後四時から役場で開く。

死亡通知

母　戸部勝子　儀

十一月二十一日午後十時二十三分　八十一歳の天寿を全うし永眠致しました

ここに生前のご厚誼を深謝し謹んでご通知申し上げます

追って葬儀は十一月二十五日十二時（正午）より「はなよし斎場」フューネスさくらに於て仏式にて相営みます

平成二十二年十一月二十二日

矢祭町大字戸塚字戸塚五五番地

喪主　戸部隆正

（子）森　豊（喜代子）

（夫）戸部利一

外　親戚一同

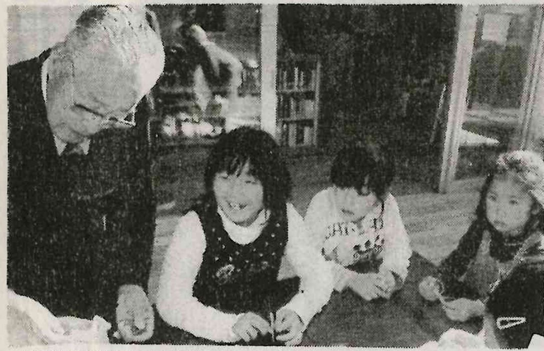
もったいない図書館が総力結集して開催

一日たっぷり家読まつり

じてん達成者
ポストカード参加者表彰

矢祭もったいない図書館（金沢昭館長）の「家読（うちどく）まつり」は、二十日午前十時から同館が総力をあげて午前から午後まで一日中にわたり開催した。

開会式では金沢館長挨撈、二階堂章信教育長、鈴木スミエ山野井金沢家読会長祝辞に続き「わが家の家読じてん」達成者二人、「家読ポストカード」参加者二十二人を表彰した。



わくわくタイムでは図書館スタッフや家族と一緒に子どもたちがキャラバンカー内での読書・ふれあい・読み聞かせで交流、科学はてな？教室のどんぐりゴマ作り、竹トンボつくりと実験、ブックカバー教室の各自持参した本にブックカバー掛け、工作教室の落ち葉でしおり作りに挑戦した。

図書館が用意した「とん汁」「おにぎり」で昼食タイムをとり、午後は家読おはなし会で手づくり絵本紹介や家族おすすめ本三冊プラスプレゼント入りの「家読福袋」贈呈を行った。

表彰者は次の通り。

▼わが家の家読じてん達成者＝下重舞由子（東舘小）緑川圭（東舘幼）

▼家読ポストカード参加者＝鈴木美穂、篠田梨佳、鈴木駿、下重香菜子、大森ななみ、下重舞由子、永山菜々子、圷千尋、永山佳奈（以上東舘小）高沢一希、高沢良裕、古張朱音、古張慶、本多白篤、本多悠夢、佐藤優斗、佐藤颯斗、本多葵、中野耕誠、小林龍ノ介、本多里奈（以上関岡小）金沢佳佑、近藤葵（以上下関河内小）。

救急情報交換研修会

塙厚生病院・棚倉消防署救急情報交換会は、十九日午後六時から厚生病院四階会議室で開いた。

病気・事故等の救急受入体制について両機関の円滑な連携を図ることを目的とし、深谷良太郎矢祭分署長が司会進行し、初めに佐川恵一院長、舟木良一署長が「年間救急搬送約千二百件のうち約八百件が厚生病院に収容している。迅速・的確な対応ができるよう有意義な研修にしたい」と挨撈、次に救急出動の現状について事例発表が行われた。

松本典之塙分署消防士長が「交通外傷によるドクターヘリとの連携について」、柴田和司矢祭分署消防副士長が「心肺停止傷病者の救急搬送について」、滝田聡鮫川分署消防士長が「モトクロス場の現状と救急出動について」、近藤孝一消防司令補が「偶発性低体温症例の検討について」と題して発表した。

11月23日（勤労感謝の日）
日蓮聖人『御会式』と
鬼子母神報恩講を厳修
致します。

午後1時より法話

★夜泣き・虫切り・入試・合格祈願
家内安全・ご家族の身体健全・
除災得幸をご祈願下さい。
＊皆様お誘い合わせの上、ご参詣下さい。

棚倉町花園　長久寺
TEL33－4033

介護職員・看護職員 募集

採用日　平成23年3月1日
勤務場所　社会福祉法人 翔馬会の各施設
特別養護老人ホーム　えみの里
デイサービスセンター　えみの里
ヘルパーステーション　えみの里
小規模多機能型居宅介護事業所　すぎの木
グループホーム　すぎの木（新規開設）
仕事　①介護職員　介護福祉士又はヘルパー2級以上
※シフト勤務・夜勤できる方
②看護職員　看護師免許（准、正）
※週2日～、短時間勤務も相談に応じます。
夜勤なし　正職員は待機番有り
給与　①介護職員 非常勤職員 時給850円～1,300円
夜勤手当5,000円/回（3～4回/月）
正職員160,000円～260,000円
②看護職員　非常勤職員　准看護師1,000円～
正看護師1,300円～1,500円
正職員210,000円～300,000円
※年齢、資格、経験を考慮いたします。
休日　週休2日制（月10日）※年間120日 有給休暇有り
待遇　社会保険完備（健康保険、厚生年金、雇用保険）
その他手当　通勤手当、扶養手当、
特別調整手当（基本給の3%）
正職員　資格手当　賞与
応募　履歴書送付（写真付）　追って後日面接日を連絡いたします。
（担当：桐原）

社会福祉法人 翔馬会
特別養護老人ホーム　えみの里
〒311-0502 常陸太田市徳田町143　TEL0294-70-7151

第22回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会へのお礼

この度の第二十二回市町村対抗福島県縦断駅伝競争大会への矢祭町チーム出場につきましては、町民の皆さまの物心両面にわたるご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

おかげさまで、選手一同充分に力を発揮し、総合三十一位、町の部十五位の成績を収めることができました。

これもひとえに町民の皆さまからの温かいご声援の賜物と深く感謝申し上げ、紙面にてお礼に替えさせていただきます。

今後とも変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成二十二年十一月二十二日

矢祭町チーム選手団
団長　佐川芳正
監督　圷　功三
他　スタッフ一同